HOLS
ほくでんライフシステム

HOLS 電気温水器

深夜電力(8時間)

形名

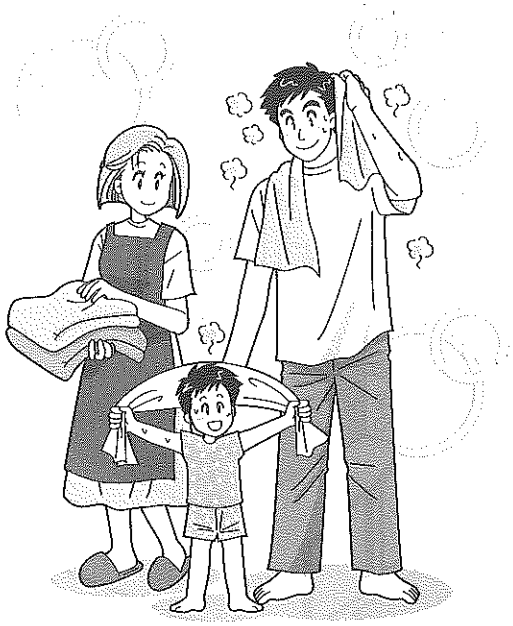
HE-3709B (タンク容量:370L)

第2深夜電力(5時間)

形名

HE-4653B (タンク容量:460L)

取扱説明書



HE-4653Bは、第2深夜電力(5時間)型なので申請によって料金割引きが適用されます。ご不明な場合は、据付工事店(販売店)または最寄りの電力会社にご相談ください。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保管し、必要なときお読みください。
- 保証書、据付工事説明書(チェックリストが入っています。)は必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店(販売店)からお受け取りください。
- お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。
- 試運転は、据付工事店立ち合いのもとで行なってください。その際、安全を確保するための正しい使い方について、据付工事店から説明を受けてください。
- 他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者となる方が安全な正しい使用方法を知るために、この取扱説明書と据付工事説明書などを次の所有者の方へ渡してください。

この取扱説明書は再生紙を使用しました。

もくじ

ページ

ご使用の前に

特長 …… 2
安全のために必ずお守りください …… 3
ご使用にあたってのお願い …… 5
各部のなまえ …… 6
準備 …… 7
- タンクの沸き上げ湯温を設定する …… 8

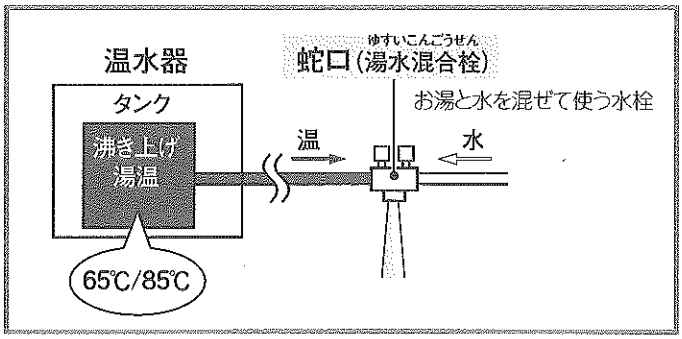
こんなとき

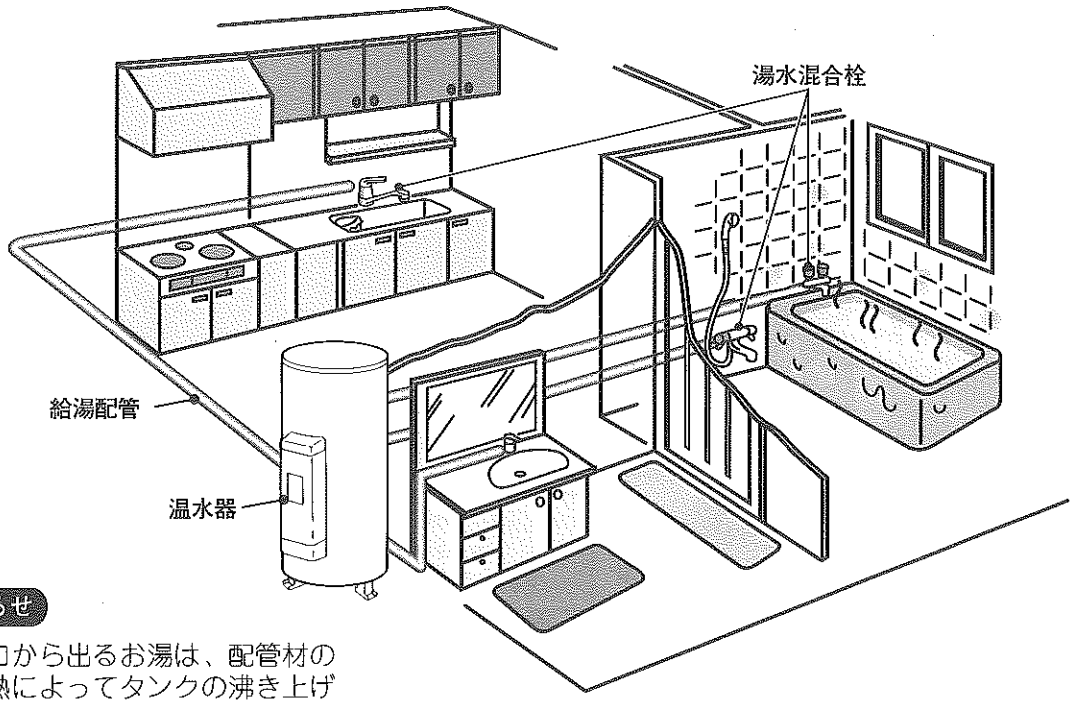
長期間 使用しないとき …… 9
凍結防止をする …… 10
定期点検 (有料) …… 11
日常点検とお手入れ …… 12
故障かな? …… 13
アフターサービス …… 14
仕様 …… 15

特長

温水器のしくみ

温水器で沸き上げたお湯は、配管を通って家の中の蛇口（台所、洗面所、シャワーなど）にきます。水と混ぜて（湯水混合栓で混ぜる）お好みの温度で使用してください。





お知らせ

- 蛇口から出るお湯は、配管材の放熱によってタンクの沸き上げ湯温より低くなることがあります。

安全のために必ずお守りください

●ご使用の前にこの欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
●お読みになった後は、据付工事説明書とともにお使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。
据付工事説明書も必ず据付工事店（販売店）から受け取ってください。

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

	禁止
	分解禁止
	接触禁止

	アース線接続
	指示にしたがう

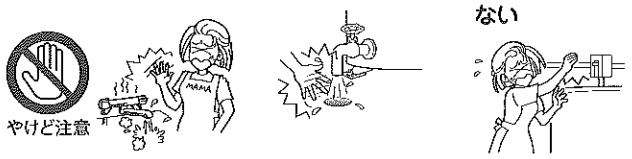
（本体表示）

	感電注意
	高温注意
	発火注意

⚠ 警告

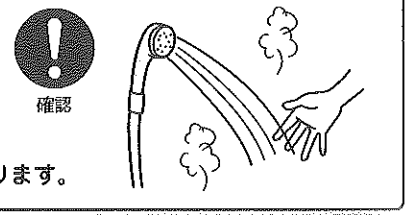
やけどに注意

- 給湯時は湯水混合栓に手を触れない
- 排水時はお湯に手を触れない
- 逃し弁点検時は配管に手を触れない



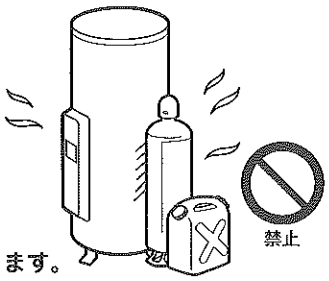
入浴するときやシャワー使用時、台所や洗面所でお湯を使うときは、湯温を指先等で確認する

湯温を確認せずに浴槽につかったり、シャワーを浴びると、やけどをすることがあります。



近くにガス類や引火物を置かない

発火・火災になることがあります。



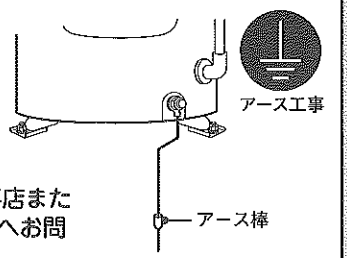
前面カバーを開けない（→6ページ）

開けると、感電することがあります。

アース工事を確認する

工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。

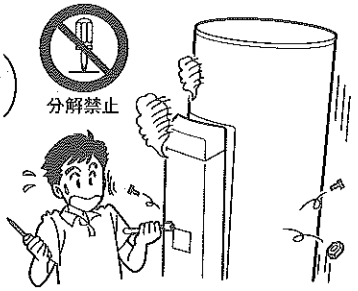
アースの取付けは、据付工事店または「HOLSお客様相談窓口」へお問合せください。



改造をしない

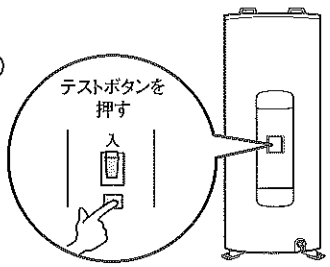
（修理技術者以外の人は分解・修理をしない）

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



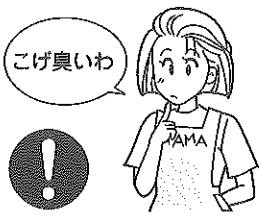
漏電遮断器の動作を確認する（→12ページ）

故障のまま使用すると、感電することがあります。



異常（こげ臭いなど）時は、漏電遮断器のレバー（→6ページ）を下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「HOLSお客様相談窓口」へ連絡する

異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。



安全のために必ずお守りください（つづき）

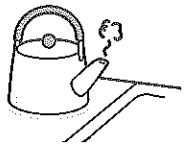
⚠注意

そのまま飲用しない

禁止

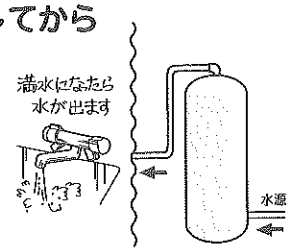
長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、据付工事店（販売店）へ点検を依頼してください。



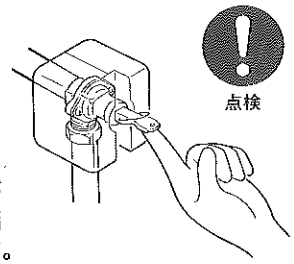
通電はタンクを満水にしてから行う（→7ページ）

満水確認



タンクに水がない状態で通電すると、ヒーターが過熱して故障の原因になります。

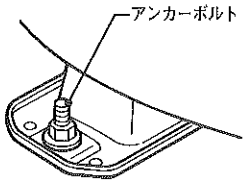
逃し弁の点検をする（→12ページ）



点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

脚（3カ所）がアンカーボルトで固定されているか確認する

確認



固定されていないと、地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。

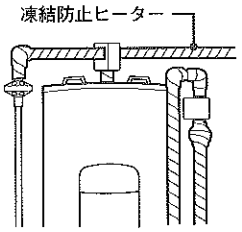
上部振れ止め金具が壁に固定されているか確認する

確認

固定されていないと、地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。

凍結防止対策の確認をする（→10ページ）

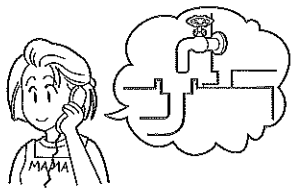
確認



凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。

床面が防水・排水処理されているか据付工事店へ確認する

確認



処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。

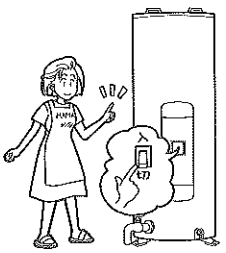
タンクの熱湯を直接排水しない（→9ページ）

禁止

やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがありますのでタンク内を水にしてから排水してください。

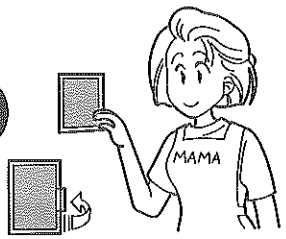
1カ月以上使用しないときは、漏電遮断器のレバー（→6ページ）を下げて電源を「切」にし、タンクの排水をする

電源確認



排水しないと水質が変化することがあります。

操作カバーは閉じる（→6ページ）



開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

ご使用にあたってのお願い

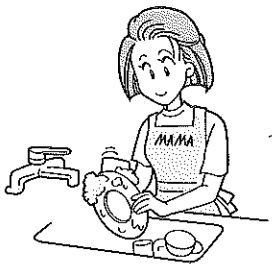
使用にあたっては、以下のことをお守りください。

お湯を上手に使う

1日に使用できるお湯の量は限りがあります。

- **シャワーは止めながら**
  （髪を洗っているときは止めましょう。）

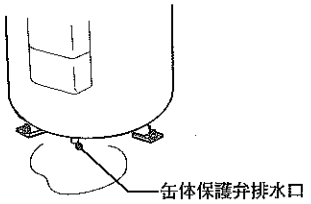
- **洗いものをするときも止めながら**



流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。

万一の故障時には

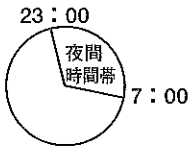
本体や缶体保護弁排水口から水が排出された場合は、不凍結水抜き栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）へご連絡ください。



夜間時間帯の入浴について

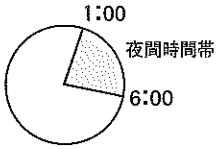
この温水器は、夜間時間帯（本体の「沸き上げ中ランプ」が点灯しているとき）にお湯を沸かしますので、この時間にはなるべく入浴しないようにしてください。夜間時間帯にお湯を使うと、翌日の湯温が低くなったり、お湯がたりなくなったりする場合があります。

[HE-3709Bの場合]

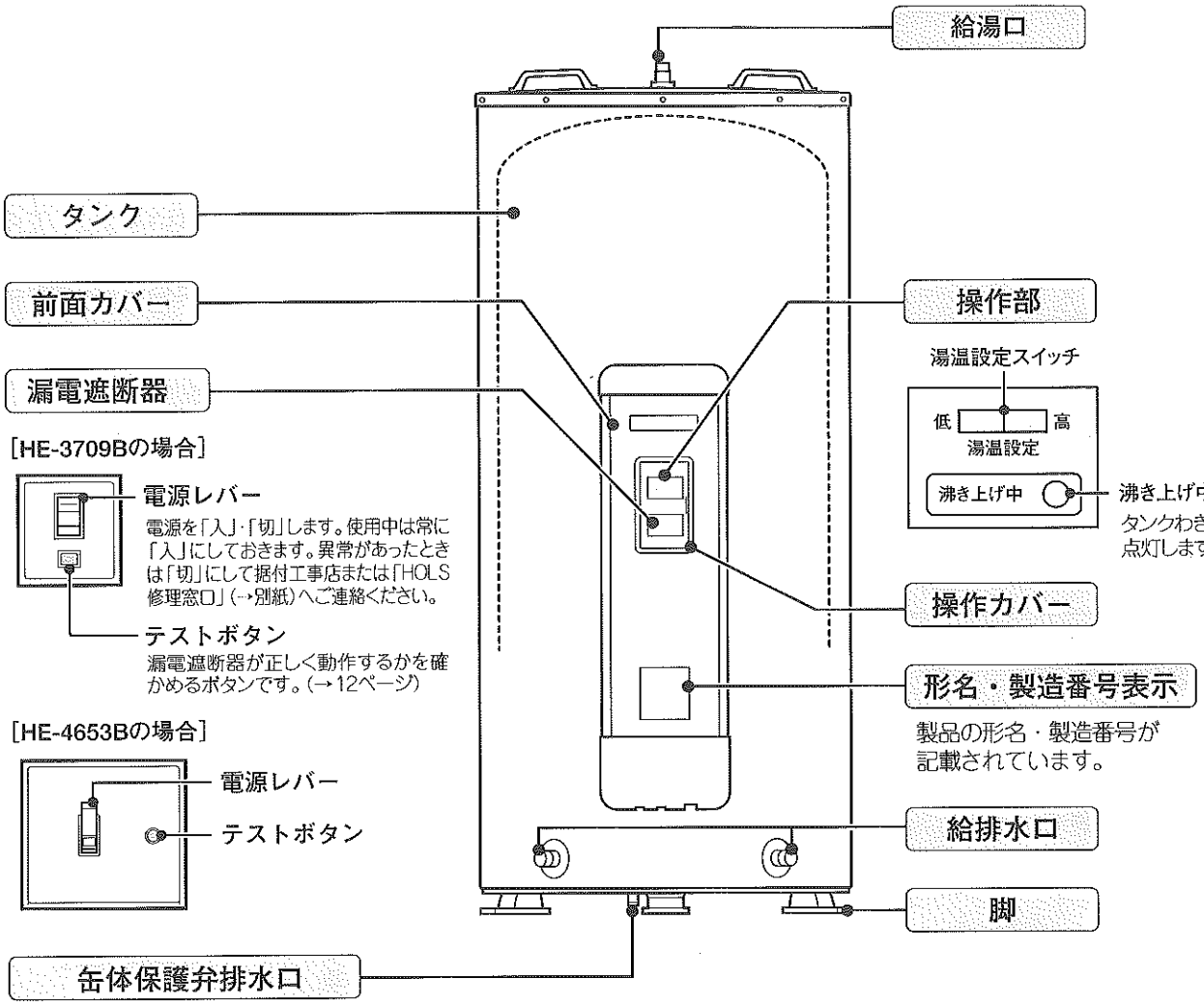


夜間時間帯は、地域によって異なります。

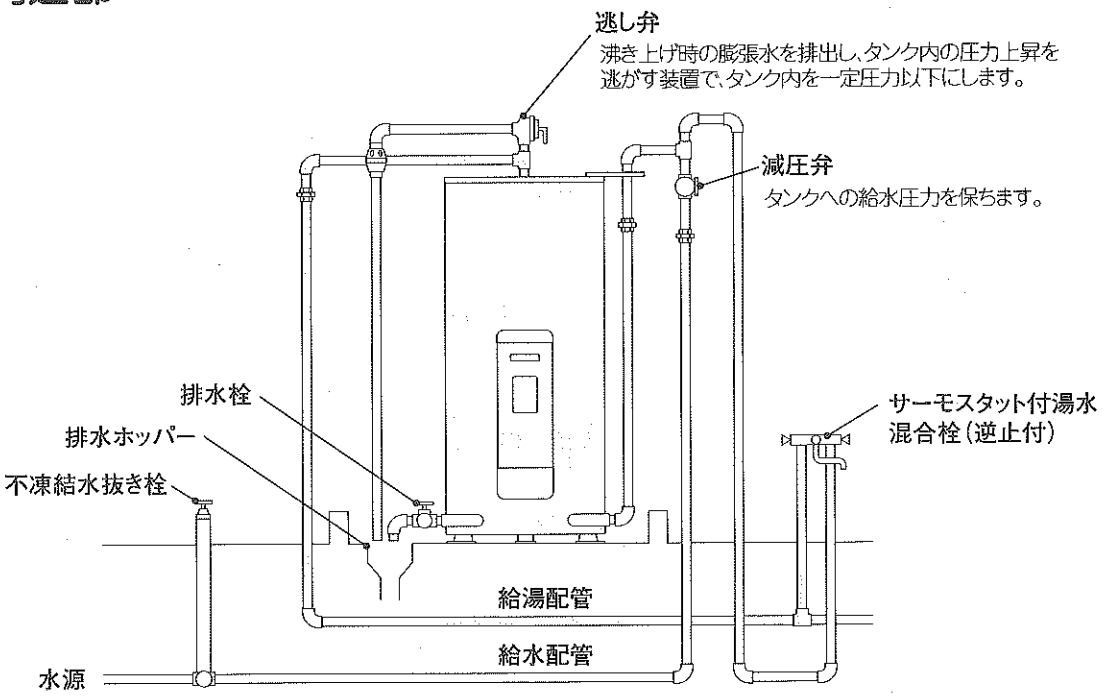
[HE-4653Bの場合]



各部のなまえ



本体周辺部



準備

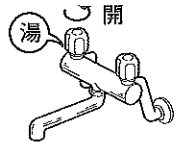
使い始めは、次の手順で操作します。また、タンクの水抜きをせずに1カ月以上温水器を使用しなかった場合は、いったんタンクの水抜きをして(→9ページ)から次の手順を行なってください。

1.温水器のタンクを満水にする

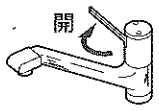
①タンク内の空気を抜くために、家の中の蛇口（湯水混合栓のお湯側）を開く（1カ所）

操作の方法は湯水混合栓のタイプによって異なります。

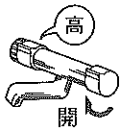
2バルブタイプ
お湯側（給湯つまみ）を開く



シングルレバータイプ
お湯側にレバーを回して上げる（下げる）



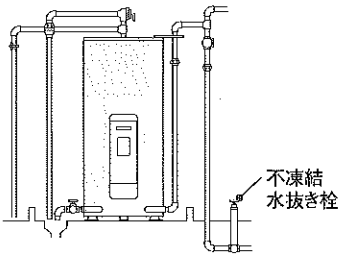
サーモスタットタイプ
湯温調節つまみを「高」側にして給湯つまみを開く



②不凍結水抜き栓を開いてタンクに水を入れる

タンクが満水になると蛇口から水がでます。満水までの目安は約30分です。

（配管や水源水圧によって多少異なります。）



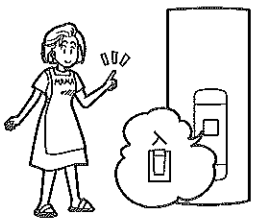
③満水になったら、①で開いた蛇口を閉じる

（不凍結水抜き栓は、閉じないでください。）

2.電源を入れる

①電源ブレーカーを「入」にする
（または分電盤の電源ブレーカーを「入」にする）

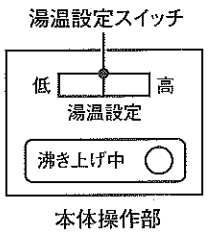
②漏電遮断器の電源レバーを「入」にする(→6ページ)



⚠注意
通電はタンクを満水にしてから行う

3.タンクの沸き上げ湯温設定をする

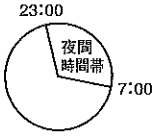
沸き上げ湯温は、本体の操作部で設定します。



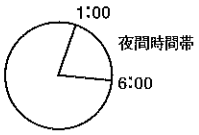
本体操作部

夜間時間帯(→5ページ)にお湯を沸き上げます。

[HE-3709Bの場合]

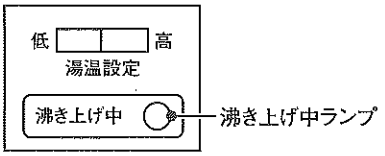


[HE-4653Bの場合]



夜間時間帯は、地域によって異なります。

沸き上げ中は、本体の「沸き上げ中ランプ」が点灯します。

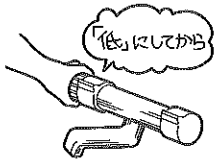


本体操作部

4.お湯を使う

お湯は翌朝から使用できます。

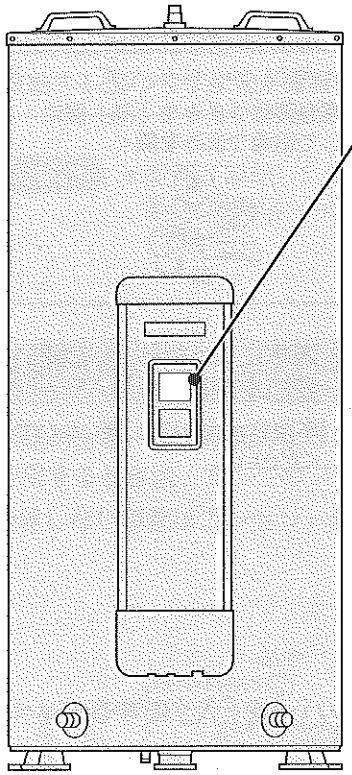
やけど防止のため、湯水混合栓の湯温調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。



⚠警告
使いはじめは、やけどに注意する
特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

タンクの沸き上げ湯温を設定する

温水器を使うためには、タンクの沸き上げ湯温を設定してください。
通常は（使いはじめは必ず）、湯切れ防止のため「高」に設定してご使用ください。
お湯の使用量が少ない場合は、省エネのために「低」にしてください。

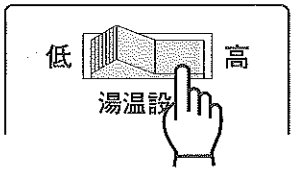


温水器

お買上げ時の設定 …高
設定できる温度 …高／低

1 湯温設定スイッチを押して設定する

本体の操作部



沸き上げ湯温設定	沸き上げ湯温（目安）	長所・短所
高	約 85℃	●最高の湯温で沸き上げるのでお湯をたくさん使えます。
低	約 65℃	●余分に沸き上げないので省エネ効果があります。 ●湯切れの心配があります。

お願い

● 沸き上げ湯温を「低」で設定している場合、来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、**前日に、「高」に設定してください。**

お知らせ

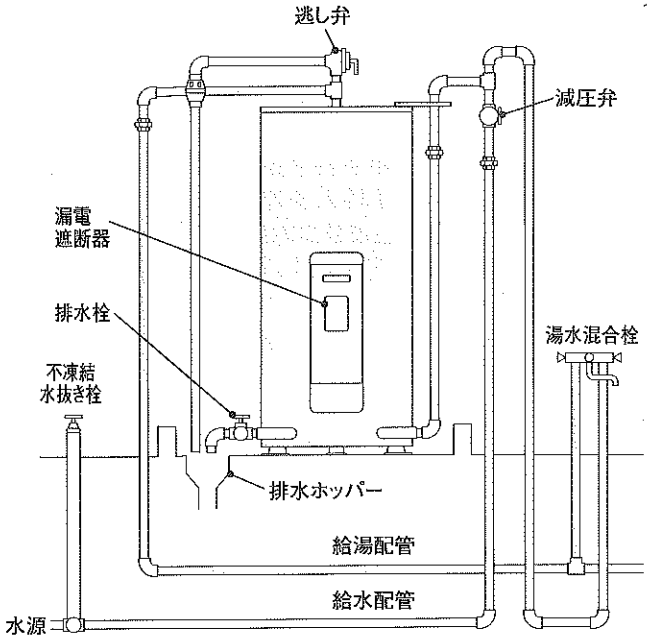
● タンク内の湯温は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下します。（通常、湯温の低下は、1時間に約0.5℃～1℃程度ですが、寒冷地では周辺温度によりそれ以上低下する場合があります。）

長期間 使用しないとき

1カ月以上、温水器を使用しないときは、運転を止めタンクの水を抜きます。

⚠ 注意

- 1カ月以上使用しないときは、タンクの水を抜く
  （水質変化の原因）
- タンクの熱湯を直接排水しない
  （やけど、排水管などの破損の原因）



1 電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にする

電気の供給を停止します。（あらかじめ前日に「切」にしておけば、ムダにお湯を捨てることがなくなります。）

2 タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓（例えば台所など）を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す

お願い ● お湯の温度を調節して60℃以下で排水してください。

3 不凍結水抜き栓を閉じる

温水器（タンク）への給水を止めます。

4 逃し弁のレバーを上げる〈右図〉

タンクへ空気を取り入れます。

5 排水栓を開く

タンクの水（お湯）を抜きます。

排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

⚠ 警告

排水時は、やけどに注意する

お願い ● 排水が終ったら、排水栓を閉じてください。

再び使用するとき

逃し弁のレバーを下げ、排水栓が閉じていることを確認してから準備（→7ページ）の手順を行なってください。

凍結防止をする

冬季は本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損することがありますので、凍結防止対策が必要です。（寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。）

凍結防止対策として「凍結防止ヒーターによる方法」があります。

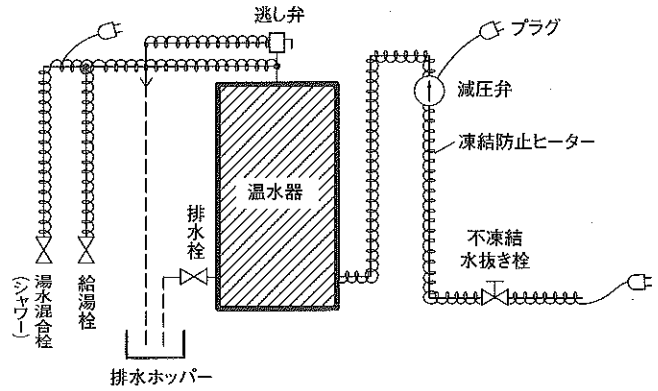
⚠注意

凍結防止対策の確認をする
凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。

お願い ●配管が凍結した場合は、不凍結水抜き栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。

凍結防止ヒーターによる方法

凍結防止ヒーターが図のように巻かれているか確認します。
使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。
凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。



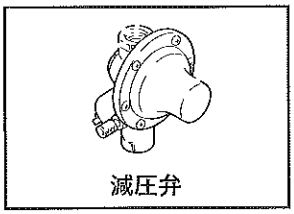
定期点検（有料）

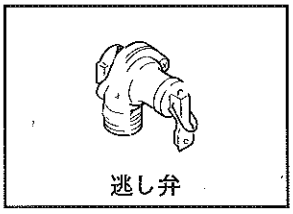
電気温水器を少しでも長くお使いいただくために、**3～4年に1度定期点検（有料）を行なってください。**
定期点検については、据付工事店（販売店）または「HOLSお客様相談窓口」（→別紙）へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

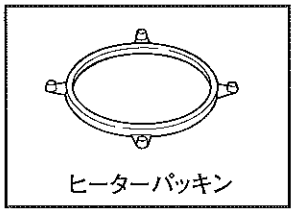
定期点検の主な内容

項　目	内　　容
据付け状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）などの点検および消耗部品の交換
タンク	沈殿物の除去など

消耗部品　以下の部品は消耗部品です。


減圧弁


逃し弁

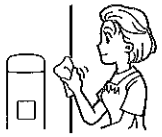

ヒーターパッキン

お願い　● 減圧弁、逃し弁、ヒーターパッキンの交換時は、当社純正部品をご指定ください。

日常点検とお手入れ

日常のお手入れ：本体のお手入れ

本体の表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。



お願い
- ベンジンやシンナーなどの化学薬品やアルコールは、使用しないでください。変形や変色の原因になります。

1年に2～3回程度：漏電遮断器の動作点検

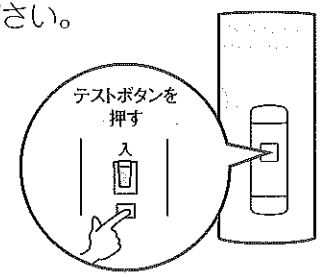
漏電遮断器の点検は、200V電源供給中に行なってください。

- 点検は夜間時間帯に行なってください。

①テストボタンを押す

電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。「切」にならない場合は、据付工事店にご連絡ください。

②必ず電源レバーを「入」に戻す



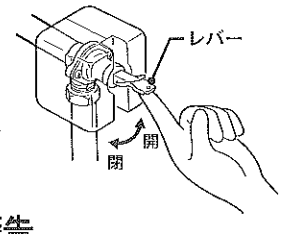
⚠警告
漏電遮断器の動作を確認する（感電の原因）

1年に2～3回程度：逃し弁の点検（各部のなまえ：→ 6ページ）

動作点検と水漏れ点検を行います。

動作点検… レバーを上げ、水（お湯）が排水ホッパーへ出ることを確認する

水（お湯）が出れば正常です。水（お湯）が出ない場合は、不凍結水抜き栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店にご連絡ください。また、レバーの動きが悪い場合は、早めに据付工事店ご連絡ください。
動作確認後は必ずレバーを下げてください。



水漏れ点検… 沸き上げをしていないとき（本体の「沸き上げ中ランプ」が点灯していないとき）、排水ホッパーから水（お湯）が出ていないかを確認する

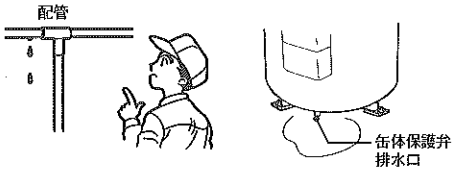
水（お湯）が出ていなければ正常です。水（お湯）が出ている場合は、レバーを数回、上下に動かします。それでも、水が止まらない場合は、不凍結水抜き栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店にご連絡ください。

⚠警告
点検時は、配管に手を触れない（やけどの原因）

⚠注意
逃し弁の点検をする
タンクや配管が破裂して、やけどの原因になります。

1年に2～3回程度：配管、缶体保護弁排水口からの漏水点検

配管の保温材破損や配管からの水漏れと、缶体保護弁排水口から水が排出されていないかを点検します。水漏れが生じている場合は、据付工事店にご連絡ください。特に冬季に入る前には、必ず保温材のチェックを行います。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。



お願い
- 本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、不凍結水抜き栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店へご連絡ください。

⚠注意
配管を点検する
マンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

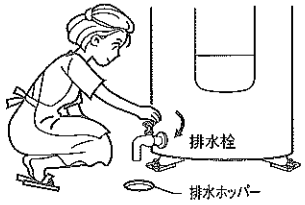
1年に2～3回程度：タンクのお手入れ

①排水栓を約1～2分間開く

タンクの下部にたまった汚れを排水します。
排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

②汚れがなくなったら排水栓を閉じる

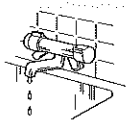
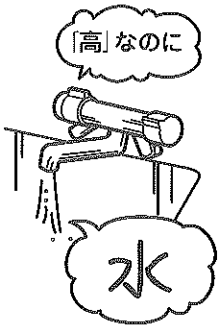
汚れが多い場合は、数回繰り返します。



⚠警告
排水時はお湯に手を触れない（やけどの原因）

故障かな？

故障かな？と思ったら

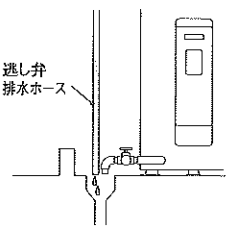
症　状	原　因	処　置
お湯が出ない お湯の出が悪い 	不凍結水抜き栓が閉じている	閉じていれば開いてください。
	断水している（蛇口から水がでますか?）	断水が終るまで待ってください。
	配管が凍結している	凍結していた場合は、不凍結水抜き栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。
お湯が沸かない お湯が足りない 	電源ブレーカーが「切」になっている	「切」になっている場合は、「入」にしてください。
	漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている	「切」になっている場合は、「入」にしてください。 2度、3度と「切」になる場合は、「切」のまま据付工事店（販売店）へご連絡ください。
	本体の「沸き上げ中ランプ」が点灯していないときに、逃し弁の排水口から、お湯（水）が出ている	逃し弁の点検を行なってください。（→12ページ） 逃し弁が正常でもお湯が出ている場合は、減圧弁の故障が考えられますので据付工事店（販売店）へご連絡ください。
	本体の「沸き上げ中ランプ」が点灯しているときに、お湯をたくさん使用した（特に夜間時間帯）	翌日まで待ってください。
	いつもに比べてお湯をたくさん使用した	翌日まで待ってください。
缶体保護弁排水口から水が出ている	逃し弁、減圧弁または缶体保護弁の故障です。	逃し弁の点検を行なってください。（→12ページ） 逃し弁が正常でもお湯が出ている場合は、減圧弁または缶体保護弁の故障が考えられますので据付工事店（販売店）へご連絡ください。

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「HOLSお客様相談窓口」（→別紙）へご相談ください。

こんなときは故障ではありません

逃し弁からお湯が出ている

本体の「沸き上げ中ランプ」が点灯しているときは、水をお湯に沸き上げているので、体積が増えた分を逃し弁から排水しています。



お湯が白く濁って見える

水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。

お湯から油がでる、お湯が臭い

初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

アフターサービス

■保証書（別添付）

●保証書は、必ず「お買上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。（取扱説明書、据付工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。）

●据付工事説明書（別添付）で指定されていない別売品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

保証期間…お買上げ日から２年間です。
ただし、タンクは５年間、発熱体（ヒーター）は3年間です。

■補修用性能部品の保有期間

●この製品の補修用性能部品を製造打切り後10年保有しています。

●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときは

●「故障かな？」（→13ページ）にしたがってお調べください。
なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店（販売店）または、「HOLSお客様相談窓口」（別紙）へご連絡ください。

●保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって据付工事店（販売店）が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

●修理料金は

技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。

●ご連絡いただきたい内容

1．品名　　：電気温水器
2．形名　　：本体正面に表示してあります。
3．お買上げ日：年月日
4．故障の内容：できるだけ具体的に
5．お名前・ご住所（付近の目印なども）・電話番号・訪問希望日

この製品はBL認定品です。

BL認定は、財団法人ベターリビングが住宅設備機器のなかでも、特に優れた商品に与えるもので、以下の特典があります。

●無料保証期間が２年間です。
ただし、タンクは5年間、発熱体（ヒーター）は3年間です。

優良住宅部品

品名　給湯器ユニット
（電気給湯機）

財団法人 ベターリビング
Tel.03-5211-0680
瑕疵保証・賠償責任保険付

仕様

形名		HE-3709B	HE-4653B
適用電力制度		深夜電力(8時間)	第2深夜電力(5時間)
設置場所		屋内	
タンク容量		0.37m³ (370L)	0.46m³ (460L)
定格電圧		単相200V	
定格消費電力		4.4kW	8.5kW
標準消費電力量※		約34kWh/日	約42kWh/日
外形寸法	高さ	1673mm	2013mm
	外径	φ660mm	φ660mm
	奥行き	731mm	731mm
製品質量	本体	約 46kg	約 57kg
	満水時	約 416kg	約 517kg
最高使用圧力		100kPa	
安全装置		漏電遮断器、温度過昇防止器、缶体保護弁	

※標準消費電力量は、沸き上げ温度85℃、給水温度15℃の条件でタンク内全量を1回沸き上げたときの値です。

愛情点検

★長年ご使用の温水器の点検を!

●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後10年です。

こんな症状はありませんか	●設置場所が濡れている。 ●お湯が早くなくなる。 ●時々漏電遮断器がはたらく。 ●その他の異常や故障がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源ブレーカーを切り不凍結水抜き栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理(有料)をご相談ください。

製品形名〈製造番号〉	据付工事店(販売店)の店名・住所・電話番号
HE-　　〈　　〉	
お買上げ日	
年　　月　　日	

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。

株式会社ほくでんライフシステム

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目6番地　住友商事札幌ビル

電話番号　011-207-6555（代表）

T962Z184H02 <2005-01>